



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社  
代表者名 取締役社長 藤 井 晃 二  
(コード番号 5660 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役総務本部長兼同総務部長兼  
企画部長  
吉 田 裕 彦  
(TEL 06-6411-1051)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 29 年 2 月 8 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び平成 29 年 3 月期第 3 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 24 年 11 月 7 日付「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小南 孝教  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長兼総務部長 (氏名) 藤森 直樹 (TEL) 06(6411)1051  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,894	△0.5	413	△28.1	363	△23.5	204	△4.3
24年3月期第2四半期	13,970	△2.4	575	△24.8	474	△30.8	214	38.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 199百万円(△17.5%) 24年3月期第2四半期 242百万円(21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.93	—
24年3月期第2四半期	4.10	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	43,010	18,759	36.0
24年3月期	42,467	18,783	36.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,467百万円 24年3月期 15,452百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
25年3月期	—	2.00			
25年3月期(予想)				3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	30,140	4.8	1,480	△8.7	1,400	△1.9	790	45.1	15.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	58,698,864株	24年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	6,612,826株	24年3月期	6,607,510株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	52,088,931株	24年3月期2Q	52,100,572株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想  
平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	23,120	4.7	1,020	10.1	650	85.3	12.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
3. 参考	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに回復してまいりましたが、欧州債務危機などから海外景気の下振れリスクや円高の長期化、電力供給不安等の影響により先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では、これまでの減少傾向から、補正予算の効果等により回復傾向となり、民間需要では自動車を中心として持ち直しの動きもありましたが、公共投資関連需要を中心に復興需要が期待通りに出ておらず依然として厳しい状況のまま推移しました。

このような状況に対しまして、当社グループは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、公共投資関連分野向けは、比較的堅調でありましたが、自動車産業関連以外の民需分野向けが低調に推移し、売上高は13,894百万円と前年同期に比べ0.5%の減収となり、営業利益、経常利益はそれぞれ413百万円(前年同期比28.1%減少)、363百万円(前年同期比23.5%減少)となりました。また法人税等及び少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は、204百万円(前年同期比4.3%減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(PC関連製品) 公共投資関連需要では、当第2四半期連結累計期間における工事発注物件は予想を下回りましたが、前年同期に比べ上向き傾向となり、販売数量・売上金額とも増加しました。一方、民間投資関連では、マンション需要が震災復旧関連工事の増加影響による人手不足から工事は遅れ気味となり、またプロジェクト物件の端境期と重なり、販売数量・売上金額とも前年同期に比べ減少しました。全体としては、民間投資向けの減少が大きく、販売数量・売上金額とも前年同期に比べ減少を余儀なくされました。

(ばね・特殊線関連製品) 主要な需要分野である自動車産業向けの弁ばね用鋼線(オイルテンパー線)は、エコカー補助金の追い風もあり、震災影響を受けた前年同期に比べ、販売数量・売上金額とも増加しました。一方OA関連製品、家電・弱電向けのばね用ニッケルめっき鋼線は、新興国向けの需要が一部増加しましたが、売上金額は為替影響を受けて前年同期に比べ減少しました。またステンレス鋼線は、自動車関連製品は前年同期に比べ若干の減少に留まったものの、建築関連向けが震災復興需要の先送りや輸入材との価格競争により売上金額が減少し、一層厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は6,772百万円と前年同期に比べ2.6%減少となり、営業利益は205百万円と前年同期に比べ8.5%減少となりました。

#### <鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は土木・建築向けの低迷、造船向けの不振等により、前年同期を下回る需要動向で推移するなか、国内向けの販売は、販売数量・売上金額とも前年同期に比べ減少しました。一方、輸出につきましては、中国向けを中心に拡販にいたしましたが、円高等の影響もあり、全体では販売数量・売上金額とも減少となりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は5,967百万円と前年同期に比べ3.7%減少となり、営業利益は117百万円と前年同期に比べ67.9%減少となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

吊構造用ケーブルにつきましては、橋梁向けは微増となりましたが、建築向けは民需分野が好調であったため、全体の売上金額は前年同期に比べ大幅に増加しました。また落橋防止ケーブルは、前年同期に比べ売上増加となりましたが、道路騒音防止関連製品は売上減少となりました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は1,124百万円と前年同期に比べ42.6%増加となり、営業利益は68百万円(前年同期は36百万円の損失)となりました。

#### <その他>

不動産関連事業の売上高は30百万円と前年同期並みとなり、営業利益は22百万円と前年同期に比べ2.5%減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。  
総資産は、543百万円増加の43,010百万円となりました。これは主として現金及び預金が増加したことによるものです。

負債は、567百万円増加の24,251百万円となりました。これは主として借入金が増加したことによるものです。

純資産は、24百万円減少の18,759百万円となりました。これは主として少数株主持分の減少によるものです。また、自己資本比率は36.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間までの業績動向を踏まえ、また今後の需要動向等を勘案して見直しを行った結果、前回公表（平成24年5月10日）いたしました業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,849	6,414
受取手形及び売掛金	<u>10,533</u>	10,108
商品及び製品	3,900	3,833
仕掛品	<u>2,260</u>	2,495
原材料及び貯蔵品	1,606	1,678
繰延税金資産	324	343
その他	<u>533</u>	<u>537</u>
貸倒引当金	<u>△169</u>	<u>△148</u>
流動資産合計	<u>24,838</u>	<u>25,261</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<u>4,406</u>	<u>4,309</u>
機械装置及び運搬具（純額）	4,335	4,329
工具、器具及び備品（純額）	162	163
土地	6,051	6,051
リース資産（純額）	40	48
建設仮勘定	199	118
有形固定資産合計	<u>15,195</u>	<u>15,020</u>
無形固定資産	247	236
投資その他の資産		
投資有価証券	486	779
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	<u>918</u>	<u>930</u>
その他	1,001	991
貸倒引当金	<u>△221</u>	<u>△209</u>
投資その他の資産合計	<u>2,185</u>	<u>2,492</u>
固定資産合計	<u>17,628</u>	<u>17,749</u>
資産合計	<u>42,467</u>	<u>43,010</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,118	2,874
短期借入金	8,015	7,042
リース債務	19	20
未払費用	1,364	1,265
未払法人税等	434	168
賞与引当金	531	533
環境対策引当金	43	—
その他	508	412
流動負債合計	<u>14,036</u>	<u>12,317</u>
固定負債		
長期借入金	6,284	8,560
リース債務	24	30
退職給付引当金	2,189	2,233
役員退職慰労引当金	49	49
環境対策引当金	8	8
繰延税金負債	489	485
負ののれん	92	61
その他	509	504
固定負債合計	<u>9,647</u>	<u>11,934</u>
負債合計	<u>23,683</u>	<u>24,251</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,333	2,382
自己株式	△1,351	△1,352
株主資本合計	<u>15,399</u>	<u>15,447</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	20
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	<u>53</u>	<u>20</u>
少数株主持分	3,331	3,291
純資産合計	<u>18,783</u>	<u>18,759</u>
負債純資産合計	<u>42,467</u>	<u>43,010</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	13,970	<u>13,894</u>
売上原価	11,162	<u>11,249</u>
売上総利益	2,807	<u>2,645</u>
販売費及び一般管理費	2,232	<u>2,231</u>
営業利益	575	<u>413</u>
営業外収益		
受取利息	24	24
受取配当金	7	9
負ののれん償却額	30	30
固定資産賃貸料	25	24
その他	3	42
営業外収益合計	93	131
営業外費用		
支払利息	85	88
その他	108	93
営業外費用合計	193	182
経常利益	474	<u>363</u>
税金等調整前四半期純利益	474	<u>363</u>
法人税、住民税及び事業税	98	145
法人税等調整額	94	<u>△17</u>
法人税等合計	192	<u>127</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	281	<u>235</u>
少数株主利益	67	30
四半期純利益	214	<u>204</u>

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	281	<u>235</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△35
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	<u>△39</u>	<u>△35</u>
四半期包括利益	<u>242</u>	<u>199</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	<u>171</u>
少数株主に係る四半期包括利益	64	28

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,954	6,197	788	13,939	30	13,970	—	13,970
セグメント間の内部売上 高又は振替高	320	102	2	425	—	425	△425	—
計	7,275	6,299	790	14,365	30	14,396	△425	13,970
セグメント損益	224	364	△36	552	22	575	—	575

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	<u>6,772</u>	5,967	1,124	<u>13,864</u>	30	<u>13,894</u>	—	<u>13,894</u>
セグメント間の内部売上 高又は振替高	621	74	0	697	—	697	△697	—
計	<u>7,393</u>	6,042	1,125	<u>14,561</u>	30	<u>14,591</u>	△697	<u>13,894</u>
セグメント利益	<u>205</u>	<u>117</u>	<u>68</u>	<u>391</u>	22	<u>413</u>	—	<u>413</u>

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

### 3. 参考

#### 1. 第2四半期（累計）及び通期業績予想 （連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
売上高	13,970	28,778	13,894	30,140	△75	1,361
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	6,954	13,940	6,772	14,353	△181	412
鋼索関連事業	6,197	12,482	5,967	12,764	△229	281
エンジニアリング関連事業	788	2,294	1,124	2,962	335	667
その他	30	61	30	61	—	—
営業利益	575	1,632	413	1,480	△161	△152
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	224	668	205	630	△18	△39
鋼索関連事業	364	715	117	460	△246	△256
エンジニアリング関連事業	△36	203	68	345	104	141
その他	22	45	22	45	△0	1
経常利益	474	1,432	363	1,400	△111	△32
四半期（当期）純利益	214	609	204	790	△9	180
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	4.10	11.69	3.93	15.16	△0.17	3.47

（単独）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
売上高	10,716	22,081	10,737	23,120	21	1,038
経常利益	278	932	329	1,020	51	87
四半期（当期）純利益	173	415	218	650	44	234
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	3.32	7.97	4.18	12.47	0.86	4.50

#### 2. 設備投資・減価償却費 （連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
設備投資	475	927	277	934	△197	6
減価償却費	471	946	475	948	4	△1

#### 3. 連結キャッシュ・フロー （連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
営業キャッシュ・フロー	△379	83	202	1,141	582	1,057
投資キャッシュ・フロー	△564	△1,011	△705	△1,466	△140	△454
財務キャッシュ・フロー	△620	199	1,067	1,007	1,687	807
現金・現金同等物期末残高	5,002	5,848	6,412	6,530	1,410	681

#### 4. 有利子負債・金融収支 （連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
有利子負債残高	13,363	14,299	15,602	15,824	2,239	1,524
金融収支	△52	△111	△54	△110	△2	1

(訂正前)



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小南 孝教  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長兼総務部長 (氏名) 藤森 直樹 (TEL) 06(6411)1051  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,903	△0.5	414	△27.9	364	△23.3	208	△2.4
24年3月期第2四半期	13,970	△2.4	575	△24.8	474	△30.8	214	38.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 204百万円(△15.7%) 24年3月期第2四半期 242百万円(21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.01	—
24年3月期第2四半期	4.10	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	43,242	19,001	36.3
24年3月期	42,685	19,021	36.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,709百万円 24年3月期 15,690百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	30,140	4.8	1,480	△8.7	1,400	△1.9	790	45.1	15.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	58,698,864株	24年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	6,612,826株	24年3月期	6,607,510株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	52,088,931株	24年3月期2Q	52,100,572株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想  
平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	23,120	4.7	1,020	10.1	650	85.3	12.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
3. 参考	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに回復してまいりましたが、欧州債務危機などから海外景気の下振れリスクや円高の長期化、電力供給不安等の影響により先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では、これまでの減少傾向から、補正予算の効果等により回復傾向となり、民間需要では自動車を中心として持ち直しの動きもありましたが、公共投資関連需要を中心に復興需要が期待通りに出ておらず依然として厳しい状況のまま推移しました。

このような状況に対しまして、当社グループは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、公共投資関連分野向けは、比較的堅調でありましたが、自動車産業関連以外の民需分野向けが低調に推移し、売上高は13,903百万円と前年同期に比べ0.5%の減収となり、営業利益、経常利益はそれぞれ414百万円(前年同期比27.9%減少)、364百万円(前年同期比23.3%減少)となりました。また法人税等及び少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は、208百万円(前年同期比2.4%減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(P C関連製品) 公共投資関連需要では、当第2四半期連結累計期間における工事発注物件は予想を下回りましたが、前年同期に比べ上向き傾向となり、販売数量・売上金額とも増加しました。一方、民間投資関連では、マンション需要が震災復旧関連工事の増加影響による人手不足から工事は遅れ気味となり、またプロジェクト物件の端境期と重なり、販売数量・売上金額とも前年同期に比べ減少しました。全体としては、民間投資向けの減少が大きく、販売数量・売上金額とも前年同期に比べ減少を余儀なくされました。

(ばね・特殊線関連製品) 主要な需要分野である自動車産業向けの弁ばね用鋼線(オイルテンパー線)は、エコカー補助金の追い風もあり、震災影響を受けた前年同期に比べ、販売数量・売上金額とも増加しました。一方O A関連製品、家電・弱電向けのばね用ニッケルめっき鋼線は、新興国向けの需要が一部増加しましたが、売上金額は為替影響を受けて前年同期に比べ減少しました。またステンレス鋼線は、自動車関連製品は前年同期に比べ若干の減少に留まったものの、建築関連向けが震災復興需要の先送りや輸入材との価格競争により売上金額が減少し、一層厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は6,781百万円と前年同期に比べ2.5%減少となり、営業利益は210百万円と前年同期に比べ6.0%減少となりました。

#### <鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は土木・建築向けの低迷、造船向けの不振等により、前年同期を下回る需要動向で推移するなか、国内向けの販売は、販売数量・売上金額とも前年同期に比べ減少しました。一方、輸出につきましては、中国向けを中心に拡販にいたしましたが、円高等の影響もあり、全体では販売数量・売上金額とも減少となりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は5,967百万円と前年同期に比べ3.7%減少となり、営業利益は115百万円と前年同期に比べ68.3%減少となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

吊構造用ケーブルにつきましては、橋梁向けは微増となりましたが、建築向けは民需分野が好調であったため、全体の売上金額は前年同期に比べ大幅に増加しました。また落橋防止ケーブルは、前年同期に比べ売上増加となりましたが、道路騒音防止関連製品は売上減少となりました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は1,124百万円と前年同期に比べ42.6%増加となり、営業利益は66百万円(前年同期は36百万円の損失)となりました。

#### <その他>

不動産関連事業の売上高は30百万円と前年同期並みとなり、営業利益は22百万円と前年同期に比べ2.5%減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。  
総資産は、556百万円増加の43,242百万円となりました。これは主として現金及び預金が増加したことによるものです。

負債は、576百万円増加の24,241百万円となりました。これは主として借入金が増加したことによるものです。

純資産は、20百万円減少の19,001百万円となりました。これは主として少数株主持分の減少によるものです。また、自己資本比率は36.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間までの業績動向を踏まえ、また今後の需要動向等を勘案して見直しを行った結果、前回公表（平成24年5月10日）いたしました業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,849	6,414
受取手形及び売掛金	<u>10,524</u>	10,108
商品及び製品	3,900	3,833
仕掛品	<u>2,259</u>	2,495
原材料及び貯蔵品	1,606	1,678
繰延税金資産	324	343
その他	<u>394</u>	<u>398</u>
貸倒引当金	<u>△169</u>	<u>△148</u>
流動資産合計	<u>24,689</u>	<u>25,122</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<u>4,404</u>	<u>4,307</u>
機械装置及び運搬具（純額）	4,335	4,329
工具、器具及び備品（純額）	162	163
土地	6,051	6,051
リース資産（純額）	40	48
建設仮勘定	199	118
有形固定資産合計	<u>15,193</u>	<u>15,018</u>
無形固定資産	247	236
投資その他の資産		
投資有価証券	486	779
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	<u>1,287</u>	<u>1,302</u>
その他	1,001	991
貸倒引当金	<u>△221</u>	<u>△209</u>
投資その他の資産合計	<u>2,555</u>	<u>2,865</u>
固定資産合計	<u>17,996</u>	<u>18,119</u>
資産合計	<u>42,685</u>	<u>43,242</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,118	2,874
短期借入金	8,015	7,042
リース債務	19	20
未払費用	1,364	1,265
未払法人税等	430	164
賞与引当金	531	533
環境対策引当金	43	—
その他	502	406
流動負債合計	<u>14,026</u>	<u>12,307</u>
固定負債		
長期借入金	6,284	8,560
リース債務	24	30
退職給付引当金	2,189	2,233
役員退職慰労引当金	40	49
環境対策引当金	8	8
繰延税金負債	489	485
負ののれん	92	61
その他	509	504
固定負債合計	<u>9,638</u>	<u>11,934</u>
負債合計	<u>23,664</u>	<u>24,241</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,571	2,624
自己株式	△1,351	△1,352
株主資本合計	<u>15,636</u>	<u>15,688</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	20
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	<u>53</u>	<u>20</u>
少数株主持分	3,331	3,291
純資産合計	<u>19,021</u>	<u>19,001</u>
負債純資産合計	<u>42,685</u>	<u>43,242</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	13,970	<u>13,903</u>
売上原価	11,162	<u>11,248</u>
売上総利益	2,807	<u>2,655</u>
販売費及び一般管理費	2,232	<u>2,240</u>
営業利益	575	<u>414</u>
営業外収益		
受取利息	24	24
受取配当金	7	9
負ののれん償却額	30	30
固定資産賃貸料	25	24
その他	3	42
営業外収益合計	93	131
営業外費用		
支払利息	85	88
その他	108	93
営業外費用合計	193	182
経常利益	474	<u>364</u>
税金等調整前四半期純利益	474	<u>364</u>
法人税、住民税及び事業税	98	145
法人税等調整額	94	<u>△20</u>
法人税等合計	192	<u>124</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	281	<u>239</u>
少数株主利益	67	30
四半期純利益	214	<u>208</u>

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	281	<u>239</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△35
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	<u>△39</u>	<u>△35</u>
四半期包括利益	<u>242</u>	<u>204</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	<u>175</u>
少数株主に係る四半期包括利益	64	28

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,954	6,197	788	13,939	30	13,970	—	13,970
セグメント間の内部売上 高又は振替高	320	102	2	425	—	425	△425	—
計	7,275	6,299	790	14,365	30	14,396	△425	13,970
セグメント損益	224	364	△36	552	22	575	—	575

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,781	5,967	1,124	13,873	30	13,903	—	13,903
セグメント間の内部売上 高又は振替高	621	74	0	697	—	697	△697	—
計	7,402	6,042	1,125	14,570	30	14,600	△697	13,903
セグメント利益	210	115	66	392	22	414	—	414

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

### 3. 参考

#### 1. 第2四半期（累計）及び通期業績予想 （連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
売上高	13,970	28,769	13,903	30,140	△66	1,370
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	6,954	13,931	6,781	14,353	△172	421
鋼索関連事業	6,197	12,482	5,967	12,764	△229	281
エンジニアリング関連事業	788	2,294	1,124	2,962	335	667
その他	30	61	30	61	—	—
営業利益	575	1,620	414	1,480	△160	△141
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	224	657	210	630	△13	△28
鋼索関連事業	364	715	115	460	△248	△256
エンジニアリング関連事業	△36	202	66	345	102	142
その他	22	45	22	45	△0	1
経常利益	474	1,426	364	1,400	△110	△26
四半期（当期）純利益	214	544	208	790	△5	245
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	4.10	10.45	4.01	15.16	△0.09	4.71

（単独）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
売上高	10,716	22,072	10,737	23,120	21	1,047
経常利益	278	926	329	1,020	51	93
四半期（当期）純利益	173	350	218	650	44	299
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	3.32	6.73	4.18	12.47	0.86	5.74

#### 2. 設備投資・減価償却費 （連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
設備投資	475	925	275	934	△199	8
減価償却費	471	946	475	948	4	△1

#### 3. 連結キャッシュ・フロー （連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
営業キャッシュ・フロー	△379	81	202	1,141	582	1,059
投資キャッシュ・フロー	△564	△1,009	△705	△1,466	△140	△456
財務キャッシュ・フロー	△620	199	1,067	1,007	1,687	807
現金・現金同等物期末残高	5,002	5,848	6,412	6,530	1,410	681

#### 4. 有利子負債・金融収支 （連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
有利子負債残高	13,363	14,299	15,602	15,824	2,239	1,524
金融収支	△52	△111	△54	△110	△2	1